臺灣日日新報 第一萬三千八百十七號 A (一)
昭和十三年九月六日（火曜日） 臺灣日日新報 第一萬三千八百十七號 A (一)
（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可） （昭和十三年九月六日（火曜日）） 臺灣日日新報 第一萬三千八百十七號 A (一)
（晨二版）
臺灣日日新報
日本夕刊共二十二頁
臺灣唯一人行發報社 佐々木藤吉
臺北市榮町三丁目四番地 電話代表九〇〇一番 社會部二二一二番 編輯局二二一二番 新聞部二二一二番 印刷局二二一二番
臺灣日日新報社 臺灣日日新報販賣部 臺灣日日新報廣告部 臺灣日日新報支局 臺灣日日新報出張所
本社定價 一箇月金四圓五拾錢 三箇月金拾二圓六拾錢 半箇年金廿五圓 一箇年金五拾圓
廣告料金 特等一行十五字 一箇月金四圓 一行增加一箇月金八圓 一行增加一箇年金五拾圓 一行增加
記事欄 一行增加一箇月金拾圓 一行增加一箇年金百圓
臺灣日日新報社 臺灣日日新報販賣部 臺灣日日新報廣告部 臺灣日日新報支局 臺灣日日新報出張所
電話 代表九〇〇一番 二二一二番 二二一二番 二二一二番
郵便振替口座臺北二二一番 臺灣日日新報社 臺灣日日新報販賣部 臺灣日日新報廣告部 臺灣日日新報支局 臺灣日日新報出張所

平田部隊が奪戰
沙婆山を完全占領

【昌黎四日發同盟】四日朝來前所南岸に據る無山を攻撃した石嘉平田部隊は敵の猛砲撃を冒しつつ一氣に西嶺を越え下り午前十時頃には東北方約一粁の地點に突進し敵の第二線陣地に迫つた

長期戰下における重要物資の動向（一）

莫大小

我國における莫大小は年產、昭和十一年調べによれば綿、毛、絹を併せて九千百万円の巨額に達しその中六千餘万円は輸出されてゐるから外貨獲得の一大源泉であるが、昭和十二年度に入りリンク制の強化により主原料たる綿絲の配給には先づ不安なく輸出の擴張に就て云ふと八月二十四日大日本紡績聯合會が設立され（資本金三百万円、半額拂込株式は綿絲紡績業者二割）今迄の個別的の輸出を改め此の新設會社が一手に合理的に輸出を進めようと云ふ訳で業者は相當これに期待をしてゐるやうだ、從つて輸出は先づ大丈夫であるが之に反し內地需要の點は如何にして此の需給を行ふかといふ點に關しては此の方は餘り樂觀を許さない事情にある。即ち莫大小は年產高の約半分が輸出されてゐるから若し輸出が減退すれば內地に殘つて來る譯であるが、內地の需要は年產高の半分以下であ

（第三種郵便物認可）　昭和十三年九月六日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万三千八百十七號

科學

X光線を食料品工業へ應用

（上）

馬鈴薯、肉類、菓子の檢査に

今から四十年ばかり前、X光線が發見されて醫學界に發を現はした當座には、それはもつぱら醫用に使はれたのである。それは外科治療に應用されて、體内の銃丸を探し出したり、骨折の個所を探つたり、或は傷んだ歯の箇所を探すのに役立つた。その後また體の疲長を防止するための物理療法としても、廣く利用されるに至つたことは周知の事實である。

醫用として大きく發展をとげて來たX光線は、更に一轉して工業方面に進出した。金屬製物や寶金の内部にある缺陷や孔を探し出すにX光線の果すべき役割が發見されたからである。それはまた古い建物の中に隠されている缺陷を發見したり、或は鑄造品の中味の狀態を調べたりするにも使用される。

○

ところで今やこのX光線は食料品の檢査の上に廣く應用されようとしてゐる。それは馬鈴薯、肉類、或は林檎やオレンヂ、さては子供用のキャンデーに至るまで、ことごとくそれらを賣にかける夜目をさへ果すに至り、食料問題もその關連するものすべてがX光線のお蔭を受けようとなつて來つゝある。

○

元來X光線の主體たるが、果物や野菜類の品質を判斷する場合には、その外側の皮膚を透過した上でやるよりも仕方がない。從來たゞトマトやアクリについて、それを觸めたり、或は握つたりして品質をきめる。また林檎なんかであれば、その上皮のところに缺點があれば、内側もおそらく駄目だらうといふ風に考へる。

○

しかしながら以上のやうな判斷の仕方はどうしても野々しり易く、とになる。これは人間の眼といふものがどんなに發達を遂げても方能ではないからだ。外目には如何にも新しいやうでありながら切つて見ると疵が水氣も何もないといつたやうなオレンヂを買つた經驗のない人あるまい。或はまた如何にも新鮮で上等の馬鈴薯が、食べてそれを口にするときに、なつて始めて腐敗の徴候をもつてゐるといふことを經驗することがあるであらう。

ダーウインは完全に進化論者とは云ひ難い、その有名な著作「人間の由來」でも彼は單に人間の隆鼻特質のみを論ずるだけで、人間の精神的方面を考へに入れなかつた。以上のやうな點はダーウインの不完全性を突く新しい見解が、カリフォルニヤ大學の動物學教授ウイリアム・リツター博士によつて發表された次にこの博士の說を簡單に紹介してみよう。

×／

ダーウインは人間に於けるもろ〳〵の非常に發達した精神的の自然的存在から割り出されるものと看做し、またそれは人間の腦や手や舌の進化によつて變化を來すものであると考へた。ダーウインはこの問題を詳細に論つて解明しようとは試みなかつた。彼の考へによればそれは當然的なものであり、彼自身の研究としつて特別の興味や示唆を與へるものではなかつた。

しかるに博士は所謂肉體と精神の間には何らか組織的な關係があるものと看做して、人間の精神的部面はすべて人間の肉體的存在から割り出されるものではない。部分（實際は「海」の部分）が、次第に海岸の段丘の發達につれて、ずつと色が淡くなり、從つてそれは恐らく植物の成育によるものだらうといふにある。

【七】かしながらこの說のミルマン教授の批判によるスペクトルは、この所謂「海」の部分の光が一樣でなく、スペクトルの先端に近づくにつれて、ずつと强が增すことを示してゐる。とこうで、葉綠素によつて生ずるスペクトルは、大體が、赤、青、綠等の色が强く、黄綠及至は黄色の方が遙かに强いのである

【火】星には生物が棲息してゐるか？この問題は從來

火星には生物はゐない

リツター博士の主張

と同じやうに考へられて來たからである。

この生物と機と同樣な方法に一早く着目したフランスの哲學者デカルトによつて唱導されたものであるが、デカルト自身生物學者であるよりは數學者であつたことを思へば當然のことと云ふべきであらう。ところで最も生物學者的な生物學者である當のダーウインの學說はこのデカルト主義の原理と相容ること殆ばく距離もないのである。人間精神の發達、その進化の順序、これが醫學の光、

通の立場にのだから。

一科學一小一話一

アルゼンチンで、流星オリオン・サインが大流行を極め昨年一年間の五大十圓が最夜發行その發行に苦慮されてゐるさうである。

×　×

北ビルマの密林に出かけて珍蟲、鳥、その他の動物を集めてゐる、特にイギリスの動物園に送るために蛇を捕へてゐる。

×　×

メルボーンのボート・フイリップ港の底に沈んでゐる汽船の船室に猛火が入つたところ穴呆もある艦に穴はれた、彼はナイフでこの厚切と戰闘し船室の戸口から艦を脱け出さぬだ。

健康相談

綠青と中毒

（問）昧の器の中にニワケルメサキのサジを入れて置きましたら水色のさびが出ました綠青でせうか、目についたのは當初してせうか、目についたのは當初してせうか多少全部にまちつてゐるかと思ひます、使用しても差支ないでせうか（新竹相田生）

（答）さつと綠青たらうと思ひます、中毒を起す事の無い樣に願つておきます。

おもしろいパラシュートの話

◇子供のための科學◇

パラシュートは我國で「落下傘」（らつかさん）と訳へてゐます、さてその仕組は大體直徑七米八米位の羽二重で作つた傘のやうなもので、それに人間や積物を釣り下げて落下傘を降下する際、丁度花火の中から現はれる落下傘のやうです、これをかうして拵えて、

（三）

諸さん、けふはパラシュートの話をいたしませう、パラシュートを使用上の人が、危險を感じた時、これを利用して飛び降りるものとばかりは限りません、これを應用して發明機へ食糧や藥品を運んだりします。

背中に背負つて飛び下りるのですが、その仕掛にも二通りの種類があります。

その一つは使用者が紐（正しくは紐と紐へまたは）を引いて開くもの、他の一つは飛び降りれば自動的に開くものとあります、しかし、何を引く方いやうか、すべて

（七）

（問）開くとなるのは、落下傘は降りて行く途んを出來るだけ緩やかにする主旨がむづかしいということです、あまり早すぎて、地面の激動を起します、それでも今日の落下傘は從前米ほどの速度を示してゐます

★　★

落下傘を發明したのはフランス人ですが、那が發明であるために、これを證明させたのは日本です落下傘の歷史を見ますと、フランスでは一九二二年の春にガストン・エルヴェといふ人が、あの有名なエッフエル塔の第二階から落下傘で飛び降りたと記してありますがこれが實際の發明者ともおもはれます。

（七）

磨歯ンオイラ

子供さんにも ライオン歯磨 ねる前にも

LION DENTIFRICE MARK

登録 御用 ライオン歯磨

SANITARY TRADE

SUPERIOR-QUALITY

MADE IN JAPAN

粉歯磨の品質向上！

粉の飛ばぬ驅水性に就て

"粉の飛ばぬ"驅水性粉歯磨"として、既に洗く識天下時に鑑み、弊社にだきましては一段の努力と研究の結果、從來の粉歯磨を改良して、粉の飛ばぬ「驅水性粉歯磨」ありつゝあります。清掃力强く、滅菌、吸着除去の效果を確實に保有する點を更めて御認識給はり、一層の御愛顧を相仰ぎ度、本品が經濟的にして、家庭經濟いうれの點より觀るも、國策に順應せる齒磨たる事を確信致すものであります。

何卒倍旧の御愛顧を賜はり度ことを切に禀ひ上げる次第で御座います。

ライオン齒磨本舗 株式會社 小林商店

東京・大阪・名古屋

は濟經物の買おの下局時

をのもるな秀優の質品

！すで事るなにめ求お

麗人荘

（第十回）

竹田敏彦作
伊勢良夫畫

（53）

十日の朔（ついたち）（十六）

その時、章子が見たものは、二人の愛慾の現場に宿る、父徳二郎の悪魔たる面影であった。

例へ世間をどう誤魔化さうと、この子は、大原徳二郎の子だ——

この子の額に宿る血は、断じて一時の方便に、道徳を無視して、愛へ一人を朝夕の子として世間に恥ぢない顔をさせようとも、それでこの子の血までも変へられようか。真実の父を父として認めず、他人を父としてどんなに遜まれても、子供は果して、それで満足してくれるだらうか——

「私には、他に二個の父がある……世は自分の虚栄を満ふために、私達から父を奪つて、他人の子供にしてしまつた。たとへ庶子でも私生子でも、私は真実の父の子でありたい」

もし、断然、一切の心に、かうした不満が生じた時には、なんとして諺る言葉があらう。いや、それぱかりでない、父の徳二郎にしても、心境の変化に促されて、母二人と名乗り合ひ、一緒に暮したいと願ひ始めるかも知れない。ああその時には——瞬間、今まで章子の胸に、縦横と咲き乱れた花園は、忽ち無残に消えてしまつたのである。

その翌日の夕方、朝倉は果して返答を求めに来た。二人は昨日の事を繰返すれば良いでは無いか。

以上の様な思想の傾向を以て日本主義が至日本精神を高揚する運動が起り、所謂自由主義、マルキシズムに対抗したのであるが、両方共の運動は日本資本主義の矛盾に対して国内改造といふ問題に迫つて来た。此の思想的傾向は、欧洲流の観方を以てすれば、即ちホリエンタル・ソシアリズムかもしれないが日本流の観方では、ファッショ的傾向とも見られるのである。

×

此の傾向に関聯して注意すべきは軍の動向である。軍隊の階級の為めには上下階級の別がある。然し一旦戦場に在つては、将校も兵卒も一丸となり、其の間隙と感の連結繋くしては勝利は困難である又軍人は国の為生命を犠牲とすることを当然より覚悟して居る。兵卒も勿論も上官の命令は絶下の御命令であり、水火を厭はぬのである。此の軍紀と修養とは正に即に迫つた国際其のものの実行である。従つて軍部が最も日本精神に燃えた国民であることも頷はれる。軍も日本は国民制度を採つて居る。即ち日本は徴兵制度や国防国家に就ては論ずるより実際を知つて居るのである。従つて又青年時代、軍事の薫陶には凡らゆる政治経済に関する書物を読み自分自身の知識を深め時世より遅れざらんことを努める。之が為遂には自分自身の意見も立つことと為り、又実際に於て所謂インテリ階級に於らざる知識の所有者として日本の国防を論ずることとなるのである。

若し国民に資が十分で無く、国民の多数が困窮するならば国民全部が等しく其の苦を分つべきでは無いか。其の結果個人に依る資本の経営が困難ならば、国家自身が之を経営するも良いではないか。

△

医生運動の特色は、第一に健康運動である。いかなる時代、いかなる社会でも人は健康を欲する。幸福に暮したい、病気に罹りたくない、生き甲斐ある歓喜にして充実せる人生を送りたいと願ふ、これ人類の本性である。併しこれを今日までのやうに、各人の自由意思に任せることなく一つの社会制度公共制度として、国家意識の下に

△

医生運動の特色は、保健のことや品性の陶冶や経済の改善のことを考へて、国民に適切なる健康用の方法を講じ、之を通じて国民の徳性及び体位の向上を図り幸福なる理想的国民生活様式を具へんとする一つの運動である。之は国民精神の運動であると同様に文化運動であり、また国民大和楽の運動である。

△

医生運動は国民の一大和楽運動である。新所同士の集りにしても、共に楽しく共に寛ぎ、共に飲び、共に語つて、一緒に愉楽を感じ、相互の親睦を深化する。特に集団的娯楽運動には各自の協力が成功の条件である。かうして国民の協同性は深まれ、更に人生と自然との調和、労働の場所を美化して、理想の楽土を作り上げることとなるのである。

△

最後に医生運動は国民の一大和楽運動である。新所同士の集りにしても、共に楽しく共に寛ぎ、共に飲び、共に語つて、一緒に愉楽を感じ、相互の親睦を深化する。特に集団的娯楽運動には各自の協力が成功の条件である。かうして国民の協同性は深まれ、更に人生と自然との調和、労働の場所を美化して、理想の楽土を作り上げることとなるのである。

支那事變の世界史的意義

（五）

在欧洲　X　Y　Z

厚生運動とは

これぞ國民の一大和樂

吉阪俊藏

男の浪費を諫んで一主婦へ

ある夫

◇今日二十五日の紙上で「無責任戦論調排撃と男の浪費」と題する婦人の夫を通じての世の男性に対する抗議を読みました。私は婦人のやうな平凡な女ですが、婦人のやうに感じ、婦人のやうな希望を抱くことは全く当然であると思ひました。婦人の言は正当であり、残念ながら婦人の夫は良妻賢母下の人物らしく思はれます。

◇然し一番いけないことは、殊に内地人である場合、必ず四人以上に人前をつくろつたり、身分以上の贅沢をする人の多いことです。婦人の言がかたやうに月収百円位の人が月二十円もの宴会に出席しそれに準じ二次会三次会までもつきあひ、又一晩カフエーに行けば十円ではすまないといふやうな有様では、唯驚くの外ないと思ひます。

◇然し婦人に認識していただきたいことは、戦場に居る内地人の男性の多くが、婦人の夫のやうな人ばかりではないことです。恒産なき者は恒心なしと言ふ如く、婦人は万物の霊長である。国体観念相俟つて生命をも辞するものであると信ずる。

◇婦人は今まで飾りに夫の言を固く過ぎて来たと思ひます。どうか夫を啓蒙にひきもどすやうに努力して下さい。それと共に私は貴方の夫のやうな男性に、もう少し自分と自分の地位とに、時代を認識していただきたいと思ふのです。

◇婦人は今まで飾りに夫の言を固く過ぎて来たと思ひます。どうか夫を啓蒙にひきもどすやうに努力して下さい。それと共に私は貴方の夫のやうな男性に、もう少し自分と自分の地位とに、時代を認識していただきたいと思ふのです。

青年の時間（東京）

戦争と若さ

櫻井忠温

戦争といふのは人の一生を一瞬さうさせる、或は人の一生を一瞬さうさせるものである。或は人の一生を一瞬さうさせるものである。併しそれは人の一生を一瞬さうさせるものである。

講演（東京）

時局と雑誌

文理博士　三宅雪嶺

日清日露戦役の際も雑誌業者の活動を見て、諸方の新聞雑誌者の活動を見て、諸方の新聞雑誌の発行数について語り、而して雑誌の発行数について語り、而して雑誌業者の活動を見て、諸方の新聞雑誌者の活動を見て、諸方の新聞

（第三種郵便物認可）　昭和十三年九月六日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万三千八百十七號　A　（五）

蘭陽へ中學校の設置熱愈よ熾烈

羅東街で種々對策協議

【羅東電話】蘭陽地方民の中学校設置に對する熱望は愈々熾烈となり羅東街では五日午後二時半同街役場會議室に第二十條名内外を招き各種團體代表者も參加して協議會を開き

【羅東電話】蘭陽地方民の中學校設置に對する熱望は愈々熾烈となり羅東街では五日午後二時半同街役場會議室に第二十條名内外を招き各種團體代表者も參加して協議會を開き

胃腸薬

胃腸の不調は
胃潰瘍・十二指腸潰瘍
胃炎・胃下垂・胃酸過多症
胃痛・胸やけ・食欲不振
胃もたれ・胃酸過多症
胃腸薬

胃腸薬

胃腸薬

部隊全員が銃劍 卓山に一番乘り

松本隊長が語る武勳談

（瑞昌二十八日發松田特派員）部隊全員が銃劍を以て卓山一番乘りをなし得やく日章旗を立て、しかも負傷者に一名といふ戰果に名も高き松本部隊、松本隊長を

金鷄 勳章に輝やき、以下は松本隊長の武勳談である

昨日まで熱病隊であつたため攻擊開始をしないものと思つてゐたが、二十二日午後七時吾が部隊も卓山攻擊に參加することになつたので、早速現地偵察を行ふ。松本隊は右翼の偵察の正確さに信賴して、未明敵前六米にまで匍ひ寄り夜明けと共に攻擊に移つた。敵は吾が攻擊を察知してか、移動をする樣子である。七時半頃天山上に軍旗二旒を飜して木崎、片井、黑野、松本の勇敢なる攻擊により天山に卓山に續攻擊に移るのであるが、側防からの火力も比較的僅少であるし

前面 の敵に退却の企圖あるを知つた松本隊は猛烈射撃を加へつゝ突進、遮二無二前面の高地を占領、續く木崎、片井部隊の攻擊を卓上から援助したのである。そして七時十五分には遂に卓山やく石本部隊の木崎、片井、黑野、松本の勇敢なる攻擊により天山に卓山に續攻擊に移るのであるが、側防からの火力も比較的僅少であるし

前面 の敵に退却の企圖あるを知つた松本隊は猛烈射撃を加へつゝ突進、遮二無二前面の高地を占領、續く木崎、片井部隊の攻擊を卓上から援助したのである。そして七時十五分には遂に卓山やく石本部隊の木崎、片井、黑野、松本の勇敢なる攻擊により天山に卓山に續攻擊に移るのであるが、側防からの火力も比較的僅少であるし

將兵 の勇敢慓悍さについて何時までも何時までも語り續けるのであつた

平田部隊の瑞昌入城

二十四日午後五時頃

（瑞昌二十七日發松田特派員）九江の攻略を放棄つて文字通り瀕口攻略の槍の穂先に在る第十師團は飽つく暇もなく更に進擊である、大體に秋晴れるといふも眼山を左に見て長江左岸地區を

前進 する石本、平田、中島の諸部隊は風雨の強い夜の進軍である十九日午後十時九江陷落後前線の第十師團は二十日港口二十一日上家山と次々に瑞昌攻略の總攻擊を開始し、二十二日は標高三百餘米の觀天山を攻略、山上に露營、翌二十三日總攻擊に移つた。此の觀天山に於て遂にあの湖口一番乘りの勇將、石川部隊長の勇姿を見たが、午前七時三十分松本隊の勇敢なる攻擊に依つて觀天山を占領、引いて陳家山を攻略、一方平田部隊は江岸老屋場附近に特別

任務 を以て前進せる永井部隊の勇敢機敏に戰

いるべく廿二日夕刻行動を起して夜行軍、九江を後に一路卓山、陳家山の線に進出、側面から中島部

戰傷勇士の樂園

四ケ所の敷地が決定

【東京五日發同盟】傷兵保護院で目下調査中だつた傷痍軍人療養所の設立は五日北海道滝田郡七條村（敷地六万坪）大阪府東南部岡村及び熊取村（敷地六万坪）兵庫有馬郡三輪町（敷地四万六千坪）の四ヶ所に決定したので愈々近く戰傷勇士の樂園建設に着手する

傷痍軍人の職業を保障

法案を來議會に提出

【東京五日發同盟】傷兵保護院では復員後の傷痍軍人の職業保護に關し廣く關係方面の意見を徵したが愈々左記要綱を內容とする傷痍軍人職業保護法（假稱）の立案に着手した、依つて成案を得次第傷痍軍人保護調査會議に諮詢した上第七十四議會に提出する筈になつた

戰死病歿者の公葬儀劃一化

大阪府の企て

【大阪四日發本社特電】大阪

移入の小麥種子を 海南製粉で消毒

隱れた官民の融和美談

【基隆電話】植物檢疫所基隆分所と海南製粉會社が協力して本島產業開發に大なる貢獻を爲しつゝあるところの隱れた官民融和美談が

月並歌會の御題に『長期戰』を賜ふ

詠進者一同恐懼感激

【東京五日發同盟】長期戰の國策と陣政權の國服を自宅で着用する

炎熱百度下の陣中風景

寫眞上はカメ風呂に入る朝富隊長、下は朝富隊の野戰料理場（松田本社特派員撮影）　總督府許可濟

秋の美術の魁 二科展

（寫眞は場內戰爭美術の一部）

大阪の禁綿事件 一流會社に波及

重要人物續々召喚さる

【東京五日發同盟】大阪綿絲布

內地また颱風禍

四國、近畿地方を一なめ

【東京五日發同盟】去る九月二日南洋に發生した颱風はその進路を北西に取りつゝあつたが遂に五日早朝に至り高知縣室戸岬を襲ひ德島を經て午後には播磨灘に進し速度時速三十粁中心深度七百十四粍の強烈なものとなり午後二時頃神戸西方に上陸した、これが為め中國、四國、東部、中部、西部の各地方一帶は相當被害を受けてゐる模樣であるが、午後六時過に於保正さんの美擧　水害聞ゆ

竹下大將新竹少年團を視閱

【新竹五日發】竹下米吉中の竹下大將は五日午後一時七分來新新竹驛着に參謀官數名に恭迎せられ

全島珠算競技大會

來月十六日商工學校で

葉水蓬氏から皇軍慰問金獻納

【基隆電話】基隆市出身陸軍歩兵少尉葉水蓬氏の義勇奉公の美擧に關しては既報の如くであるが、その後軍事扶助資金として金五千圓也を獻納したので、昨日基隆市役所に於て同氏より市長に對し感謝狀を贈呈した

女青團員に死藏金の寶却を說く

【基隆電話】基隆地區にては遊んで死藏金を醫療設備に就ては市民の各機關を動員して勸誘中であり現在の如き市民に多額を突破してゐるが之が活用法は本島婦人の自覺を最も必要とするので郡にては八日午前十時から基隆公學校に各街庄の女青年團員を網羅各街庄長、公學校長の列席を求め團員を通じて死藏金寶却に一段の努力をかける事とした

小笠原中將逝く

【東京五日發同盟】陸軍技術本部附陸軍航空本部總務部長小笠原中將は今年二月陸軍航空本部總務部長に補せられ同部に勤務中のところ四日午後一時中野の自宅で逝去した、享年五十五

室田義文氏逝く

【小田原五日發同盟】貴族院議員小田原の本邸に於て病氣療養中の處遂に療養の効なく四日午後五時五十九歳ノ天壽ヲ以テ永眠致候間此段生前辱知各位ニ謹告仕候

追而告別式ハ來ル八日午後二時ヨリ三時迄逢來町稻江會館ニ於テ佛式ニ依リ相營ミ可申候

昭和十三年九月六日

臺北市永樂町三丁目五番地
喪主　男　郭　火炎
遺族　同　同
親戚　同　同
友人　同　同

新竹州の自動車運轉手試驗終る

【新竹五日發】先般行はれた新竹州下自動車運轉手試驗はガソリン統制の業界不振により受驗者も著しく減少するものと見られて居たところ、果實はその豫想に反し受驗者總數二百三十五名と云ふ驚くべき多數に上り州保安課では先づ實地試驗を行ひ七十名を合格せしめ第二次學科試驗を行つた結果一般自動車の部十九名、營業自動車の部六名、計十九名を合格せしめ、目下中に發表の運びとなつてゐるが、尙ほ州保安課の當局者は語る

出征の祝旗から 卷繃帶と風呂敷

愛婦高雄支部で考案

出征軍人に寄せられた出征祝旗を有效に使用したいといふので各方面で種々苦慮されてゐるが愛婦高雄支部でも之が善後策をうけたので出征軍人遺家族、婦人會役員、愛國婦人會員、女子團體の勤勞奉仕によつて繃帶卷二千六百九十卷、風呂敷二千枚、八卷キ二千本を調製して聯隊に納入した、なほ風呂敷、手拭を祝福した

緬甸人と回教徒が 又も蘭貢で衝突

死傷五十名を出す

【ラングーン五日發同盟】ラングーン來電によれば四日ラングーンに於て又もやヒルマン人と回教徒との間に衝突が起り死者十名負傷者四十名

弱い寒波襲來 不連續線の惡戲

うづ卷いた台湾は今度も同樣のたうちまはり、より五日早朝より轉じた寒波が襲來しひやりとさせられる北寄りの台風とそれほどの寒波と秋色濃くに滿ちまつ

第二回將兵慰問金領收報告（二次）

一金百拾九圓五拾錢也　基隆市仙洞區援護

氣天のふけ

△昨日の氣溫　最高　三二度七（午後四時）　最低　二五度（午前八時）

△北部地方　北東の和風後曇時々雨

△臺北地方　東の和風　曇後晴

羽衣會館廣門支店

開設に付

ダンサー女給　大募集

（內外人を問はず）

本人面談下さい

西門町　羽衣會館　電五七一四一八九

壯丁團に竹腰の國防服

女給と結婚への道

賊捕手

山田五十鈴主演

日封切

日時　三日間　二十錢

大世界　ニュース　芳乃館

日章印カーボン紙

卽死と重傷

基隆郡下の事故

生きてゐる兵隊の判決言渡

第二回將兵慰問金領收報告（二次）

臺北市議一行

白衣の勇士を慰問

德島

被害狀況

兵庫

和歌山

大阪

香川

西部防空訓練

來る廿九日より

死者千名を突破

北鮮地方の洪水被害

太平洋で八號と遇然に邂逅

陸軍航空、工科兩校生徒募集

東京醫專

臺北醫專

臺北工專

臺北高商

臺北高校

臺北帝大

臺北師範

臺北第一中學

臺北第二中學

臺北第三高女

臺北第一高女

臺北第二高女

臺北工業

臺北商業

臺北農林

臺北第一師範

臺北第二師範

臺北第三師範

臺北第一商業

臺北第二商業

臺北第一工業

臺北第二工業

臺北第一農業

臺北第二農業

臺北第一女子

臺北第二女子

臺北第三女子

臺北第四女子

臺北第五女子

臺北第六女子

臺北第七女子

臺北第八女子

臺北第九女子

臺北第十女子

臺北第十一女子

臺北第十二女子

臺北第十三女子

臺北第十四女子

臺北第十五女子

臺北第十六女子

臺北第十七女子

臺北第十八女子

臺北第十九女子

臺北第二十女子

臺北第二十一女子

臺北第二十二女子

臺北第二十三女子

臺北第二十四女子

臺北第二十五女子

臺北第二十六女子

臺北第二十七女子

臺北第二十八女子

臺北第二十九女子

臺北第三十女子

臺北第三十一女子

臺北第三十二女子

臺北第三十三女子

臺北第三十四女子

臺北第三十五女子

臺北第三十六女子

臺北第三十七女子

臺北第三十八女子

臺北第三十九女子

臺北第四十女子

臺北第四十一女子

臺北第四十二女子

臺北第四十三女子

臺北第四十四女子

臺北第四十五女子

臺北第四十六女子

臺北第四十七女子

臺北第四十八女子

臺北第四十九女子

臺北第五十女子

臺北第五十一女子

臺北第五十二女子

臺北第五十三女子

臺北第五十四女子

臺北第五十五女子

臺北第五十六女子

臺北第五十七女子

臺北第五十八女子

臺北第五十九女子

臺北第六十女子

臺北第六十一女子

臺北第六十二女子

臺北第六十三女子

臺北第六十四女子

臺北第六十五女子

臺北第六十六女子

臺北第六十七女子

臺北第六十八女子

臺北第六十九女子

臺北第七十女子

臺北第七十一女子

臺北第七十二女子

臺北第七十三女子

臺北第七十四女子

臺北第七十五女子

臺北第七十六女子

臺北第七十七女子

臺北第七十八女子

臺北第七十九女子

臺北第八十女子

臺北第八十一女子

臺北第八十二女子

臺北第八十三女子

臺北第八十四女子

臺北第八十五女子

臺北第八十六女子

臺北第八十七女子

臺北第八十八女子

臺北第八十九女子

臺北第九十女子

臺北第九十一女子

臺北第九十二女子

臺北第九十三女子

臺北第九十四女子

臺北第九十五女子

臺北第九十六女子

臺北第九十七女子

臺北第九十八女子

臺北第九十九女子

臺北第一百女子

臺北第一百一女子

臺北第一百二女子

臺北第一百三女子

臺北第一百四女子

臺北第一百五女子

臺北第一百六女子

臺北第一百七女子

臺北第一百八女子

臺北第一百九女子

臺北第一百十女子

臺北第一百十一女子

臺北第一百十二女子

臺北第一百十三女子

臺北第一百十四女子

臺北第一百十五女子

臺北第一百十六女子

臺北第一百十七女子

臺北第一百十八女子

臺北第一百十九女子

臺北第一百二十女子

臺北第一百二十一女子

臺北第一百二十二女子

臺北第一百二十三女子

臺北第一百二十四女子

臺北第一百二十五女子

臺北第一百二十六女子

臺北第一百二十七女子

臺北第一百二十八女子

臺北第一百二十九女子

臺北第一百三十女子

臺北第一百三十一女子

臺北第一百三十二女子

臺北第一百三十三女子

臺北第一百三十四女子

臺北第一百三十五女子

臺北第一百三十六女子

臺北第一百三十七女子

臺北第一百三十八女子

臺北第一百三十九女子

臺北第一百四十女子

臺北第一百四十一女子

臺北第一百四十二女子

臺北第一百四十三女子

臺北第一百四十四女子

臺北第一百四十五女子

臺北第一百四十六女子

臺北第一百四十七女子

臺北第一百四十八女子

臺北第一百四十九女子

臺北第一百五十女子

臺北第一百五十一女子

臺北第一百五十二女子

臺北第一百五十三女子

臺北第一百五十四女子

臺北第一百五十五女子

臺北第一百五十六女子

臺北第一百五十七女子

臺北第一百五十八女子

臺北第一百五十九女子

臺北第一百六十女子

臺北第一百六十一女子

臺北第一百六十二女子

臺北第一百六十三女子

臺北第一百六十四女子

臺北第一百六十五女子

臺北第一百六十六女子

臺北第一百六十七女子

臺北第一百六十八女子

臺北第一百六十九女子

臺北第一百七十女子

臺北第一百七十一女子

臺北第一百七十二女子

臺北第一百七十三女子

臺北第一百七十四女子

臺北第一百七十五女子

臺北第一百七十六女子

臺北第一百七十七女子

臺北第一百七十八女子

臺北第一百七十九女子

臺北第一百八十女子

臺北第一百八十一女子

臺北第一百八十二女子

臺北第一百八十三女子

臺北第一百八十四女子

臺北第一百八十五女子

臺北第一百八十六女子

臺北第一百八十七女子

臺北第一百八十八女子

臺北第一百八十九女子

臺北第一百九十女子

臺北第一百九十一女子

臺北第一百九十二女子

臺北第一百九十三女子

臺北第一百九十四女子

臺北第一百九十五女子

臺北第一百九十六女子

臺北第一百九十七女子

臺北第一百九十八女子

臺北第一百九十九女子

臺北第二百女子

臺北第二百一女子

臺北第二百二女子

臺北第二百三女子

臺北第二百四女子

臺北第二百五女子

臺北第二百六女子

臺北第二百七女子

臺北第二百八女子

臺北第二百九女子

臺北第二百十女子

臺北第二百十一女子

臺北第二百十二女子

臺北第二百十三女子

臺北第二百十四女子

臺北第二百十五女子

臺北第二百十六女子

臺北第二百十七女子

臺北第二百十八女子

臺北第二百十九女子

臺北第二百二十女子

臺北第二百二十一女子

臺北第二百二十二女子

臺北第二百二十三女子

臺北第二百二十四女子

臺北第二百二十五女子

臺北第二百二十六女子

臺北第二百二十七女子

臺北第二百二十八女子

臺北第二百二十九女子

臺北第二百三十女子

臺北第二百三十一女子

臺北第二百三十二女子

臺北第二百三十三女子

臺北第二百三十四女子

臺北第二百三十五女子

臺北第二百三十六女子

臺北第二百三十七女子

臺北第二百三十八女子

臺北第二百三十九女子

臺北第二百四十女子

臺北第二百四十一女子

臺北第二百四十二女子

臺北第二百四十三女子

臺北第二百四十四女子

臺北第二百四十五女子

臺北第二百四十六女子

臺北第二百四十七女子

臺北第二百四十八女子

臺北第二百四十九女子

臺北第二百五十女子

臺北第二百五十一女子

臺北第二百五十二女子

臺北第二百五十三女子

臺北第二百五十四女子

臺北第二百五十五女子

臺北第二百五十六女子

臺北第二百五十七女子

臺北第二百五十八女子

臺北第二百五十九女子

臺北第二百六十女子

臺北第二百六十一女子

臺北第二百六十二女子

臺北第二百六十三女子

臺北第二百六十四女子

臺北第二百六十五女子

臺北第二百六十六女子

臺北第二百六十七女子

臺北第二百六十八女子

臺北第二百六十九女子

臺北第二百七十女子

臺北第二百七十一女子

臺北第二百七十二女子

臺北第二百七十三女子

臺北第二百七十四女子

臺北第二百七十五女子

臺北第二百七十六女子

臺北第二百七十七女子

臺北第二百七十八女子

臺北第二百七十九女子

臺北第二百八十女子

臺北第二百八十一女子

臺北第二百八十二女子

臺北第二百八十三女子

臺北第二百八十四女子

臺北第二百八十五女子

臺北第二百八十六女子

臺北第二百八十七女子

臺北第二百八十八女子

臺北第二百八十九女子

臺北第二百九十女子

臺北第二百九十一女子

臺北第二百九十二女子

臺北第二百九十三女子

臺北第二百九十四女子

臺北第二百九十五女子

臺北第二百九十六女子

臺北第二百九十七女子

臺北第二百九十八女子

臺北第二百九十九女子

臺北第三百女子

臺北第三百一女子

臺北第三百二女子

臺北第三百三女子

臺北第三百四女子

臺北第三百五女子

臺北第三百六女子

臺北第三百七女子

臺北第三百八女子

臺北第三百九女子

臺北第三百十女子

臺北第三百十一女子

臺北第三百十二女子

臺北第三百十三女子

臺北第三百十四女子

臺北第三百十五女子

臺北第三百十六女子

臺北第三百十七女子

臺北第三百十八女子

臺北第三百十九女子

臺北第三百二十女子

臺北第三百二十一女子

臺北第三百二十二女子

臺北第三百二十三女子

臺北第三百二十四女子

臺北第三百二十五女子

臺北第三百二十六女子

臺北第三百二十七女子

臺北第三百二十八女子

臺北第三百二十九女子

臺北第三百三十女子

臺北第三百三十一女子

臺北第三百三十二女子

臺北第三百三十三女子

臺北第三百三十四女子

臺北第三百三十五女子

臺北第三百三十六女子

臺北第三百三十七女子

臺北第三百三十八女子

臺北第三百三十九女子

臺北第三百四十女子

臺北第三百四十一女子

臺北第三百四十二女子

臺北第三百四十三女子

臺北第三百四十四女子

臺北第三百四十五女子

臺北第三百四十六女子

臺北第三百四十七女子

臺北第三百四十八女子

臺北第三百四十九女子

臺北第三百五十女子

臺北第三百五十一女子

臺北第三百五十二女子

臺北第三百五十三女子

臺北第三百五十四女子

臺北第三百五十五女子

臺北第三百五十六女子

臺北第三百五十七女子

臺北第三百五十八女子

臺北第三百五十九女子

臺北第三百六十女子

臺北第三百六十一女子

臺北第三百六十二女子

臺北第三百六十三女子

臺北第三百六十四女子

臺北第三百六十五女子

臺北第三百六十六女子

臺北第三百六十七女子

臺北第三百六十八女子

臺北第三百六十九女子

臺北第三百七十女子

臺北第三百七十一女子

臺北第三百七十二女子

臺北第三百七十三女子

臺北第三百七十四女子

臺北第三百七十五女子

臺北第三百七十六女子

臺北第三百七十七女子

臺北第三百七十八女子

臺北第三百七十九女子

臺北第三百八十女子

臺北第三百八十一女子

臺北第三百八十二女子

臺北第三百八十三女子

臺北第三百八十四女子

臺北第三百八十五女子

臺北第三百八十六女子

臺北第三百八十七女子

臺北第三百八十八女子

臺北第三百八十九女子

臺北第三百九十女子

臺北第三百九十一女子

臺北第三百九十二女子

臺北第三百九十三女子

臺北第三百九十四女子

臺北第三百九十五女子

臺北第三百九十六女子

臺北第三百九十七女子

臺北第三百九十八女子

臺北第三百九十九女子

臺北第四百女子

臺北第四百一女子

臺北第四百二女子

臺北第四百三女子

臺北第四百四女子

臺北第四百五女子

臺北第四百六女子

臺北第四百七女子

臺北第四百八女子

臺北第四百九女子

臺北第四百十女子

臺北第四百十一女子

臺北第四百十二女子

臺北第四百十三女子

臺北第四百十四女子

臺北第四百十五女子

臺北第四百十六女子

臺北第四百十七女子

臺北第四百十八女子

臺北第四百十九女子

臺北第四百二十女子

臺北第四百二十一女子

臺北第四百二十二女子

臺北第四百二十三女子

臺北第四百二十四女子

臺北第四百二十五女子

臺北第四百二十六女子

臺北第四百二十七女子

臺北第四百二十八女子

臺北第四百二十九女子

臺北第四百三十女子

臺北第四百三十一女子

臺北第四百三十二女子

臺北第四百三十三女子

臺北第四百三十四女子

臺北第四百三十五女子

臺北第四百三十六女子

臺北第四百三十七女子

臺北第四百三十八女子

臺北第四百三十九女子

臺北第四百四十女子

臺北第四百四十一女子

臺北第四百四十二女子

臺北第四百四十三女子

臺北第四百四十四女子

臺北第四百四十五女子

臺北第四百四十六女子

臺北第四百四十七女子

臺北第四百四十八女子

臺北第四百四十九女子

臺北第四百五十女子

臺北第四百五十一女子

臺北第四百五十二女子

臺北第四百五十三女子

臺北第四百五十四女子

臺北第四百五十五女子

臺北第四百五十六女子

臺北第四百五十七女子

臺北第四百五十八女子

臺北第四百五十九女子

臺北第四百六十女子

臺北第四百六十一女子

臺北第四百六十二女子

臺北第四百六十三女子

臺北第四百六十四女子

臺北第四百六十五女子

臺北第四百六十六女子

臺北第四百六十七女子

臺北第四百六十八女子

臺北第四百六十九女子

臺北第四百七十女子

臺北第四百七十一女子

臺北第四百七十二女子

臺北第四百七十三女子

臺北第四百七十四女子

臺北第四百七十五女子

臺北第四百七十六女子

臺北第四百七十七女子

臺北第四百七十八女子

臺北第四百七十九女子

臺北第四百八十女子

臺北第四百八十一女子

臺北第四百八十二女子

臺北第四百八十三女子

臺北第四百八十四女子

臺北第四百八十五女子

臺北第四百八十六女子

臺北第四百八十七女子

臺北第四百八十八女子

臺北第四百八十九女子

臺北第四百九十女子

臺北第四百九十一女子

臺北第四百九十二女子

臺北第四百九十三女子

臺北第四百九十四女子

臺北第四百九十五女子

臺北第四百九十六女子

臺北第四百九十七女子

臺北第四百九十八女子

臺北第四百九十九女子

臺北第五百女子

臺北第五百一女子

臺北第五百二女子

臺北第五百三女子

臺北第五百四女子

臺北第五百五女子

臺北第五百六女子

臺北第五百七女子

臺北第五百八女子

臺北第五百九女子

臺北第五百十女子

臺北第五百十一女子

臺北第五百十二女子

臺北第五百十三女子

臺北第五百十四女子

臺北第五百十五女子

臺北第五百十六女子

臺北第五百十七女子

臺北第五百十八女子

臺北第五百十九女子

臺北第五百二十女子

臺北第五百二十一女子

臺北第五百二十二女子

臺北第五百二十三女子

臺北第五百二十四女子

臺北第五百二十五女子

臺北第五百二十六女子

臺北第五百二十七女子

臺北第五百二十八女子

臺北第五百二十九女子

臺北第五百三十女子

臺北第五百三十一女子

臺北第五百三十二女子

臺北第五百三十三女子

臺北第五百三十四女子

臺北第五百三十五女子

臺北第五百三十六女子

臺北第五百三十七女子

臺北第五百三十八女子

臺北第五百三十九女子

臺北第五百四十女子

臺北第五百四十一女子

臺北第五百四十二女子

臺北第五百四十三女子

臺北第五百四十四女子

臺北第五百四十五女子

臺北第五百四十六女子

臺北第五百四十七女子

臺北第五百四十八女子

臺北第五百四十九女子

臺北第五百五十女子

臺北第五百五十一女子

臺北第五百五十二女子

臺北第五百五十三女子

臺北第五百五十四女子

臺北第五百五十五女子

臺北第五百五十六女子

臺北第五百五十七女子

臺北第五百五十八女子

臺北第五百五十九女子

臺北第五百六十女子

臺北第五百六十一女子

臺北第五百六十二女子

臺北第五百六十三女子

臺北第五百六十四女子

臺北第五百六十五女子

臺北第五百六十六女子

臺北第五百六十七女子

臺北第五百六十八女子

臺北第五百六十九女子

臺北第五百七十女子

臺北第五百七十一女子

臺北第五百七十二女子

臺北第五百七十三女子

臺北第五百七十四女子

臺北第五百七十五女子

臺北第五百七十六女子

臺北第五百七十七女子

臺北第五百七十八女子

臺北第五百七十九女子

臺北第五百八十女子

臺北第五百八十一女子

臺北第五百八十二女子

臺北第五百八十三女子

臺北第五百八十四女子

臺北第五百八十五女子

臺北第五百八十六女子

臺北第五百八十七女子

臺北第五百八十八女子

臺北第五百八十九女子

臺北第五百九十女子

臺北第五百九十一女子

臺北第五百九十二女子

臺北第五百九十三女子

臺北第五百九十四女子

臺北第五百九十五女子

臺北第五百九十六女子

臺北第五百九十七女子

臺北第五百九十八女子

臺北第五百九十九女子

臺北第六百女子

臺北第六百一女子

臺北第六百二女子

臺北第六百三女子

臺北第六百四女子

臺北第六百五女子

臺北第六百六女子

臺北第六百七女子

臺北第六百八女子

臺北第六百九女子

臺北第六百十女子

臺北第六百十一女子

臺北第六百十二女子

臺北第六百十三女子

臺北第六百十四女子

臺北第六百十五女子

臺北第六百十六女子

臺北第六百十七女子

臺北第六百十八女子

臺北第六百十九女子

臺北第六百二十女子

臺北第六百二十一女子

臺北第六百二十二女子

臺北第六百二十三女子

臺北第六百二十四女子

臺北第六百二十五女子

臺北第六百二十六女子

臺北第六百二十七女子

臺北第六百二十八女子

臺北第六百二十九女子

臺北第六百三十女子

臺北第六百三十一女子

臺北第六百三十二女子

臺北第六百三十三女子

臺北第六百三十四女子

臺北第六百三十五女子

臺北第六百三十六女子

臺北第六百三十七女子

臺北第六百三十八女子

臺北第六百三十九女子

臺北第六百四十女子

臺北第六百四十一女子

臺北第六百四十二女子

臺北第六百四十三女子

臺北第六百四十四女子

臺北第六百四十五女子

臺北第六百四十六女子

臺北第六百四十七女子

臺北第六百四十八女子

臺北第六百四十九女子

臺北第六百五十女子

臺北第六百五十一女子

臺北第六百五十二女子

臺北第六百五十三女子

臺北第六百五十四女子

臺北第六百五十五女子

臺北第六百五十六女子

臺北第六百五十七女子

臺北第六百五十八女子

臺北第六百五十九女子

臺北第六百六十女子

臺北第六百六十一女子

臺北第六百六十二女子

臺北第六百六十三女子

臺北第六百六十四女子

臺北第六百六十五女子

臺北第六百六十六女子

臺北第六百六十七女子

臺北第六百六十八女子

臺北第六百六十九女子

臺北第六百七十女子

臺北第六百七十一女子

臺北第六百七十二女子

臺北第六百七十三女子

臺北第六百七十四女子

臺北第六百七十五女子

臺北第六百七十六女子

臺北第六百七十七女子

臺北第六百七十八女子

臺北第六百七十九女子

臺北第六百八十女子

臺北第六百八十一女子

臺北第六百八十二女子

臺北第六百八十三女子

臺北第六百八十四女子

臺北第六百八十五女子

臺北第六百八十六女子

臺北第六百八十七女子

臺北第六百八十八女子

臺北第六百八十九女子

臺北第六百九十女子

臺北第六百九十一女子

臺北第六百九十二女子

臺北第六百九十三女子

臺北第六百九十四女子

臺北第六百九十五女子

臺北第六百九十六女子

臺北第六百九十七女子

臺北第六百九十八女子

臺北第六百九十九女子

臺北第七百女子

臺北第七百一女子

臺北第七百二女子

臺北第七百三女子

臺北第七百四女子

臺北第七百五女子

臺北第七百六女子

臺北第七百七女子

臺北第七百八女子

臺北第七百九女子

臺北第七百十女子

臺北第七百十一女子

臺北第七百十二女子

臺北第七百十三女子

臺北第七百十四女子

臺北第七百十五女子

臺北第七百十六女子

臺北第七百十七女子

臺北第七百十八女子

臺北第七百十九女子

臺北第七百二十女子

臺北第七百二十一女子

臺北第七百二十二女子

臺北第七百二十三女子

臺北第七百二十四女子

臺北第七百二十五女子

臺北第七百二十六女子

臺北第七百二十七女子

臺北第七百二十八女子

臺北第七百二十九女子

臺北第七百三十女子

臺北第七百三十一女子

臺北第七百三十二女子

臺北第七百三十三女子

臺北第七百三十四女子

臺北第七百三十五女子

臺北第七百三十六女子

臺北第七百三十七女子

臺北第七百三十八女子

臺北第七百三十九女子

臺北第七百四十女子

臺北第七百四十一女子

臺北第七百四十二女子

臺北第七百四十三女子

臺北第七百四十四女子

臺北第七百四十五女子

臺北第七百四十六女子

臺北第七百四十七女子

臺北第七百四十八女子

臺北第七百四十九女子

臺北第七百五十女子

臺北第七百五十一女子

臺北第七百五十二女子

臺北第七百五十三女子

臺北第七百五十四女子

臺北第七百五十五女子

臺北第七百五十六女子

臺北第七百五十七女子

臺北第七百五十八女子

臺北第七百五十九女子

臺北第七百六十女子

臺北第七百六十一女子

臺北第七百六十二女子

臺北第七百六十三女子

臺北第七百六十四女子

臺北第七百六十五女子

臺北第七百六十六女子

臺北第七百六十七女子

臺北第七百六十八女子

臺北第七百六十九女子

臺北第七百七十女子

臺北第七百七十一女子

臺北第七百七十二女子

臺北第七百七十三女子

臺北第七百七十四女子

臺北第七百七十五女子

臺北第七百七十六女子

臺北第七百七十七女子

臺北第七百七十八女子

臺北第七百七十九女子

臺北第七百八十女子

臺北第七百八十一女子

臺北第七百八十二女子

臺北第七百八十三女子

臺北第七百八十四女子

臺北第七百八十五女子

臺北第七百八十六女子

臺北第七百八十七女子

臺北第七百八十八女子

臺北第七百八十九女子

臺北第七百九十女子

臺北第七百九十一女子

臺北第七百九十二女子

臺北第七百九十三女子

臺北第七百九十四女子

臺北第七百九十五女子

臺北第七百九十六女子

臺北第七百九十七女子

臺北第七百九十八女子

臺北第七百九十九女子

臺北第八百女子

臺北第八百一女子

臺北第八百二女子

臺北第八百三女子

臺北第八百四女子

臺北第八百五女子

臺北第八百六女子

臺北第八百七女子

臺北第八百八女子

臺北第八百九女子

臺北第八百十女子

臺北第八百十一女子

臺北第八百十二女子

臺北第八百十三女子

臺北第八百十四女子

臺北第八百十五女子

臺北第八百十六女子

臺北第八百十七女子

臺北第八百十八女子

臺北第八百十九女子

臺北第八百二十女子

臺北第八百二十一女子

臺北第八百二十二女子

臺北第八百二十三女子

臺北第八百二十四女子

臺北第八百二十五女子

臺北第八百二十六女子

臺北第八百二十七女子

臺北第八百二十八女子

臺北第八百二十九女子

臺北第八百三十女子

臺北第八百三十一女子

臺北第八百三十二女子

臺北第八百三十三女子

臺北第八百三十四女子

臺北第八百三十五女子

臺北第八百三十六女子

臺北第八百三十七女子

臺北第八百三十八女子

臺北第八百三十九女子

臺北第八百四十女子

臺北第八百四十一女子

臺北第八百四十二女子

臺北第八百四十三女子

臺北第八百四十四女子

臺北第八百四十五女子

臺北第八百四十六女子

臺北第八百四十七女子

臺北第八百四十八女子

臺北第八百四十九女子

臺北第八百五十女子

臺北第八百五十一女子

臺北第八百五十二女子

臺北第八百五十三女子

臺北第八百五十四女子

臺北第八百五十五女子

臺北第八百五十六女子

臺北第八百五十七女子

臺北第八百五十八女子

臺北第八百五十九女子

臺北第八百六十女子

臺北第八百六十一女子

臺北第八百六十二女子

臺北第八百六十三女子

臺北第八百六十四女子

臺北第八百六十五女子

臺北第八百六十六女子

臺北第八百六十七女子

臺北第八百六十八女子

臺北第八百六十九女子

臺北第八百七十女子

臺北